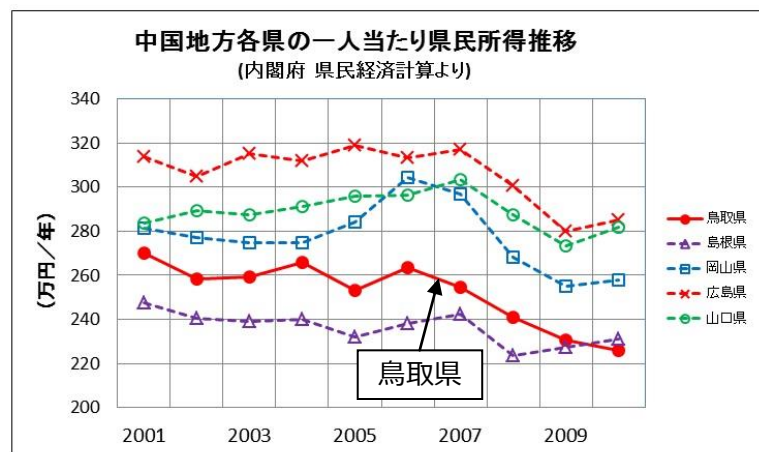


# 竹内市政の12年間に、鳥取は急速に貧困化！

就職先が無く、若者の県外への流出が止まらない。いったん県外に出た子供たちは、鳥取に勤め先が無いので、「帰りたいが、帰れない」。  
このままでは近い将来、本当に鳥取は、「空き家と年寄りだけの街」になる！



左に示すように、鳥取県の一人あたりの年間の県民所得は、'10年に島根にも抜かれて中国地方で一番貧しい県に転落。一人当たり県民所得は、'01年には全国で32位だった順位が、'10年には43位。9年間で県民所得は44万円、16.4%も低下した。この間に鳥取よりも所得の減少率が大きかったのは高知県だけ。つまり、全国ワースト二位。県人口の1/3を占める鳥取市の経済の衰退が、大きく影響していることは明らか！

最近では市長も企業誘致に熱心だが、その中身を見ると、私たちの税金で貸工場を建て、私たちの財産である市有地などを県外企業に安売りしているだけ。県外企業に大サービスして誘致し、新聞に「誘致成功は市長のおかげ」と書いてもらって選挙対策にしようという意図がミエミエである。こんなやり方では、せっかく企業を誘致してもむしろ市の借金は増え、誘致企業が稼いだ利益の多くは、市民には回らず県外に流出するだろう。竹内市政の延長がこれからも続けば、鳥取市民はますます貧乏になってしまう。

## 「鉄永ゆきのり」さんは、「市民との対話」最優先！

### ◎ 「鉄永ゆきのり」さんの主要政策

- ①今の鳥取市政に一番欠けているのは**政治の透明性**です。情報公開を推進します。
- ②**子供を産み育てやすい環境**をつくり、高齢化などの対応の充実に努めます。
- ③**農林水産業の加工業化**を推進し、かつ、市内の**中小企業の競争力・体力強化**を支援します。
- ④**企業誘致は全力で推進**します。ただし、貸工場等を提供する現在のオーダー型の企業誘致は、リスクが高すぎるので全面的に見直します。
- ⑤本庁舎に集中してしまった職員配置を見直し、市の休眠施設を活用しながら業務に応じて**職員を再配置**します。また、総合支所に権限を戻すなど**鳥取市版の地方分権**を行います。
- ⑥市庁舎問題への対応 『**住民投票結果を尊重し、新築移転は考えません。**』

### ◎ 市庁舎問題に対する三氏の政策の比較

氏名	方針	住民投票結果との関係	庁舎費用・業者選定方法
深沢氏	・旧市立病院跡地に <b>新築移転</b> ・市庁舎整備全体構想を進める	<b>住民投票結果を完全に無視。</b>	<b>新築費用に約66億円。</b> その他の関連費用と選定方法は公表していない。
福浜氏	・現本庁舎の耐震改修、かつ旧市立病院跡地に <b>新築</b> ・整備全体構想をある程度評価	住民投票結果を尊重するとしているが、病院跡地への小規模新築も主張。	目標金額と具体的進め方を示していない。
鉄永氏	・現本庁舎耐震改修、敷地内で <b>一部新築</b>	<b>住民投票結果を尊重。</b>	<b>改修費用は20億円台を目標とする。</b> 工事方法も含めて全国から業者を公募する。

### ◎ 鉄永さんの政策を詳しく知ってください。

「鉄永ゆきのり後援会」 電話:0857-36-8677 Fax:0857-21-8678 URL:<http://tetsunaga.com/>

「開かれた市政をつくる会」 (会長 八村輝夫)

tel:0857-25-4558 fax:0857-25-4559 URL:<http://sustainabletori.com/>